

健康へのメッセージ

ジェネリック医薬品

今回はジェネリック医薬品についてのお話です。TVのコマーシャルにも登場しているのをご存じの方も多いと思われま。ジェネリックとは英語の「一般名」の意味です。従来は後発品と呼ばれていました。

医療用の医薬品には特許があります。新薬の発売から20〜25年間の特許が切れるまで同じ薬を他の製薬会社が販売することができません。この新薬は最初に開発されたことから先発品と呼ばれていま。この特許が切れた後に申請・販売された薬が後発品又はジェネリック医薬品です。新薬の開発には長い時間と多額のお金がかかりますが、化学構造のわかったものを作るのは比較的簡単です。その為に値段も先発品の2〜7割と安価になっています。総額31兆円の国民医療費の内、約



東陽病院院長
伊藤 文憲

6兆円を占める薬剤の一部を節約することは政府にとっても、お薬を購入する患者さんにとっても朗報といえます。しかし、今までは政府が薦めるにもかかわらず、先発品のみが処方されて、後発品の処方は稀でした。1999年は約10%、2003年でも16%です。欧米では半分以上です。この原因は、医師が処方する際には、名前が良く知られていて広く使われている先発品を選ぶ習慣があるためです。慣れ親しんだ薬が処方しやすいようです。

そこで、政府は後発品の普及を促進する為に、2006年4月から制度をかえました。患者さんがジェネリック医薬品を使いたいと医師に伝え、医師が認めた場合には、調剤薬局において先発品をジェネリック薬品に変更することが可能となりました。病院によっては先発品のみを優先する場合もありますが、医療にかかる経済負担の軽減が優先される時代ですので、今後ジェネリック医薬品の使用頻度は増すものと思われま。

ちなみに、欧米並に半分位になると約1兆円の医療費軽減になると計算されています。さて、ジェネリック医薬品の普及が遅れたことには訳があります。先発品は発売前の臨床試験や副作用の検討などの多くのチェックを受けて発売されています。その為に信頼性が高かったのです。ジェネリック医薬品の製造会社は準大手や中小企業が多いため、医療情報担当者が少なく、医療情報が伝わりにくい事もあります。有効成分は同じでもカプセルの質や錠剤化の技術の差により臨床効果に差が出ることもあり得ま。医薬品以外の部分でも外装が弱く脆い、チューブが壊れやすいなどの欠点を持つていることがあります。今後、ジェネリック医薬品を製造するメーカーの努力が必要でしょう。

◆救急当番日
6日(日) 午前8時30分〜午後5時15分

※問い合わせ
東陽病院
☎1335

ジェネリック薬品に変えたことにより、従来と異なる症状が出現する場合があります。その時は内服を中止し、今後について担当の医師と相談しましょう。

☆ただけピラフ☆

材料(5人分)

- 米 カップ2と1/2
- 水 カップ2と1/2
- ハム 4枚
- 玉ねぎ 小1 1/2個
- ④ ミックスベジタブル(冷凍) カップ1/2
- マーガリン 小さじ2
- 塩 小さじ1

《作り方》

- ① 米はといて、ざるにあげておく。
- ② ハム・玉ねぎは角切りにする。
- ③ おかまに米・水・④を入れて炊く。



普通に御飯を炊くのと同じ要領で、といたお米と材料を混ぜて炊きます。真夏の食欲がない時でもヘルシーな味ですので子供達も喜ぶと思います。手軽に作れますのでぜひお試しください。

食生活改善推進員
鈴木ふさ子(栗山)